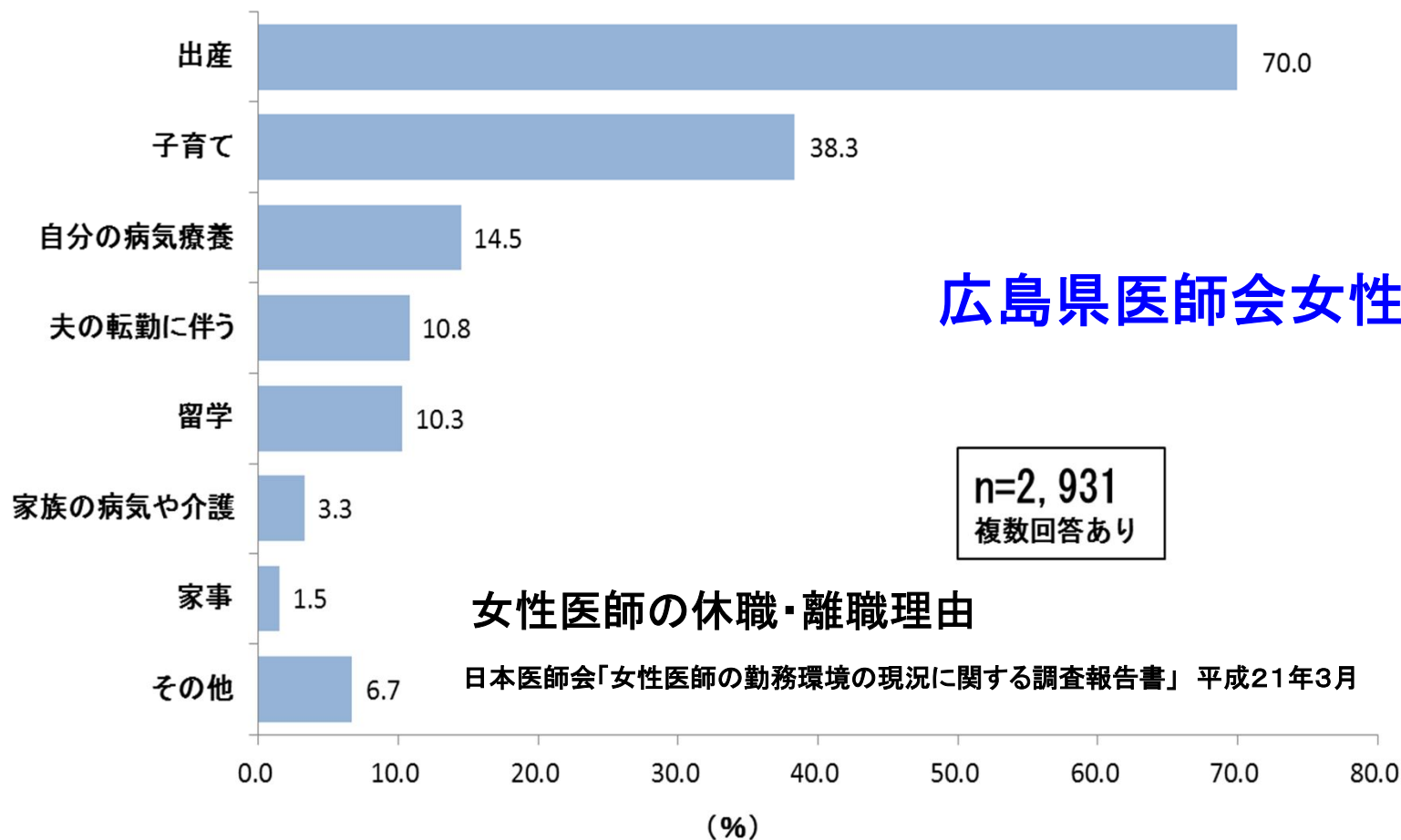


# 広島大学および県内病院における ワークライフバランス支援とキャリア支援



広島県医師会女性医師部会

檜山 桂子



# 女性医師支援

ワークライフバランス支援

- 子育てと仕事の両立を支援

キャリア支援

- モチベーションを高め
- ガラスの天井を取り除き
- 意思決定の場を両性で

啓発  
情報提供

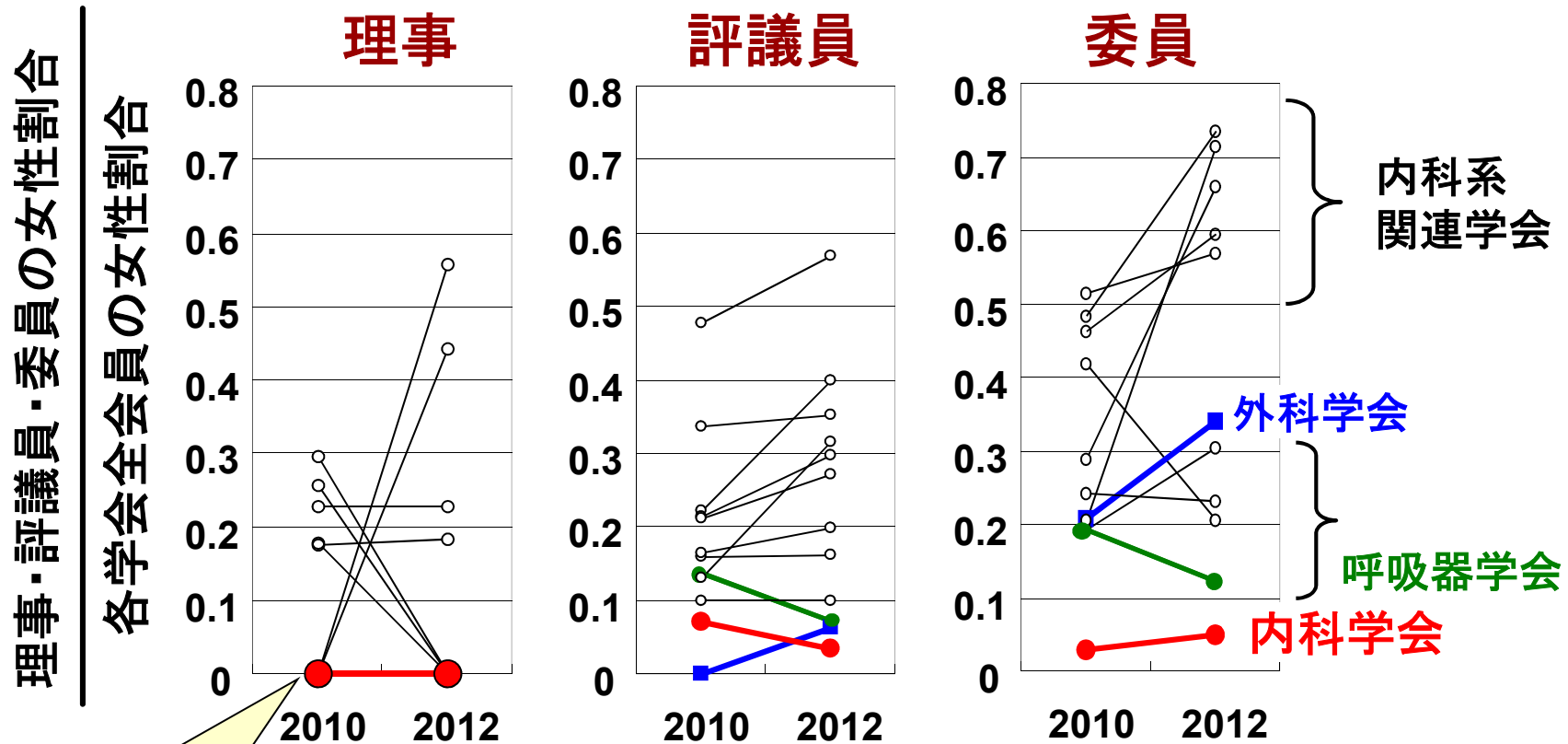
- 男性・上司も含め  
男女共同参画を理解
- ネットワーク作り

女性医師が生き生きとワーク・ライフ・バランスを保ちながら仕事を続け社会に貢献

男性医師の負担も軽減し、すべての医師が生き生きとワーク・ライフ・バランスを保ちながら仕事を続け社会に貢献

# 内科関連学会の意思決定に参画する女性割合

Surgery Today: 204-205, 2014より改編

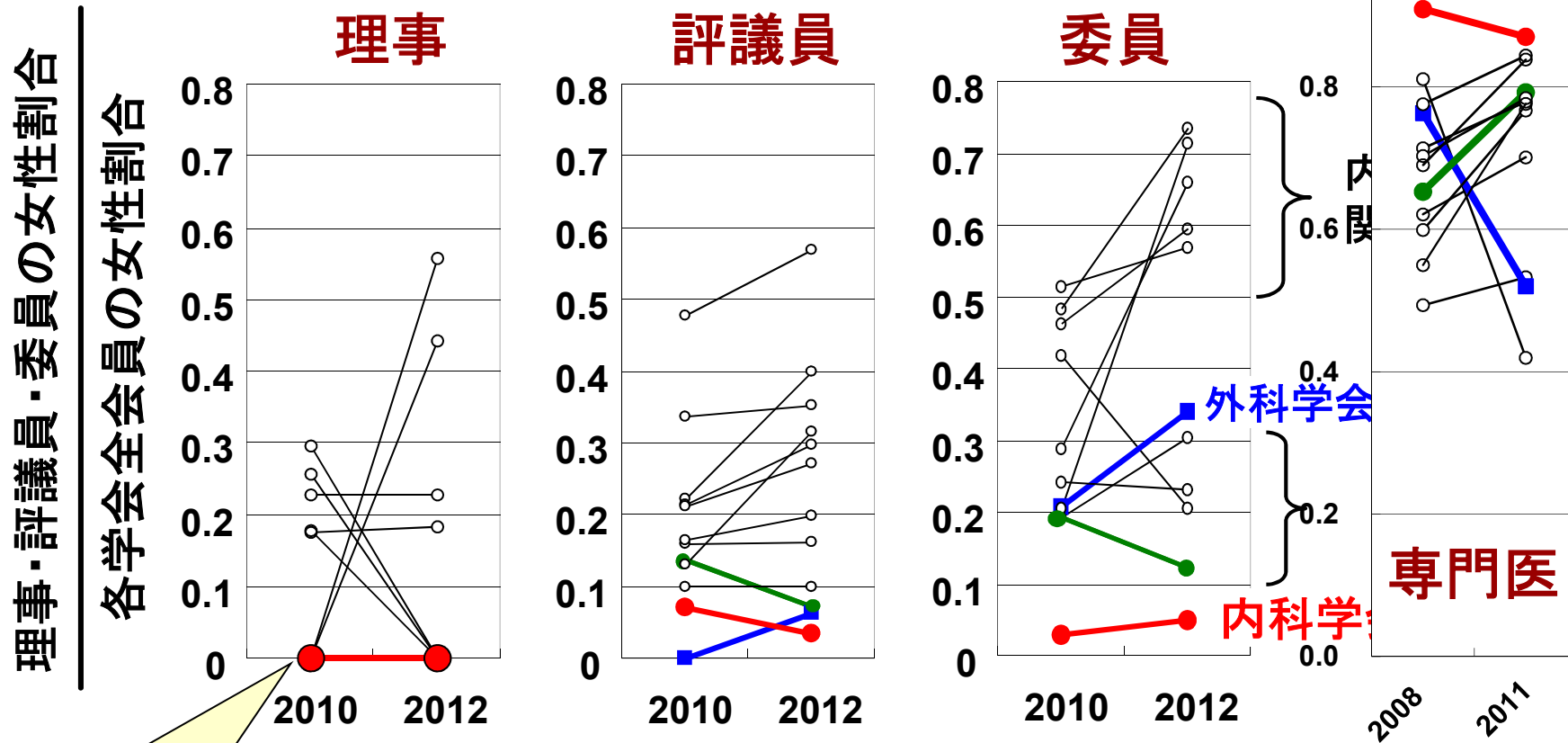


内科学会・外科学会・  
4関連学会が  
両年ともゼロ

男女共同参画が達成されればすべて「1」になるはずであるが、  
内科学会は常に0.1以下で、2012年には、いずれも最低となってしまっ  
た

# 内科関連学会の意思決定に参画する女性割合

Surgery Todayより改編



内科学会・外科学会・  
4関連学会が  
両年ともゼロ

本人のモチベーションで達成しやすい専門医取得は、殆どの学会で0.5以上であり、内科学会も「1」に近い

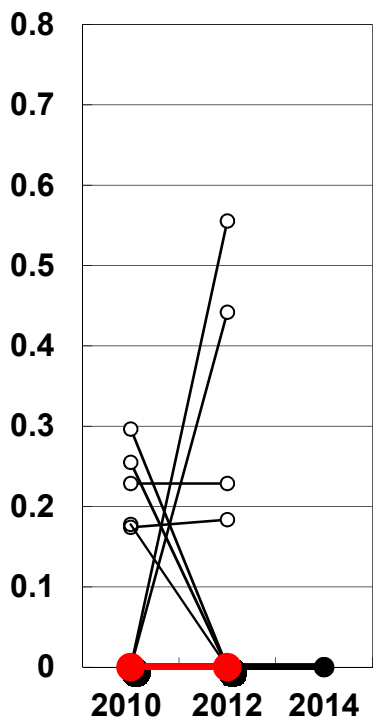
→意思決定の場に女性が少ないことは、本人よりも組織の問題が大きい。

# 内科関連学会の意思決定に参画する女性割合

理事・評議員・委員の女性割合

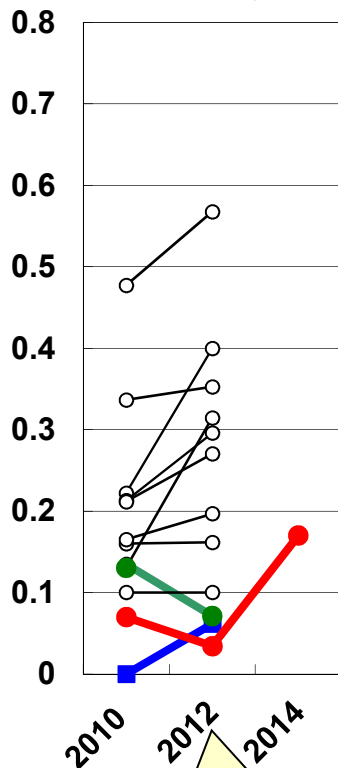
各学会全会員の女性割合

理事



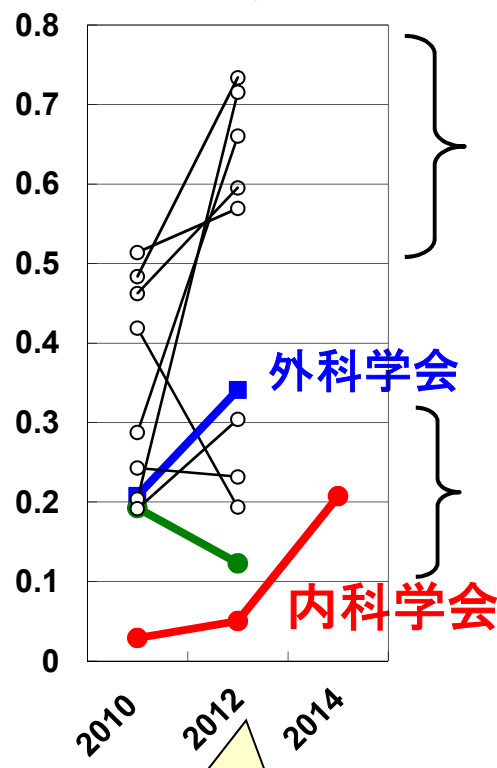
ポジティブアクション  
なし

評議員



ポジティブアクション  
あり

委員

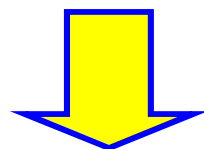


ポジティブアクション  
あり

# 目的と方法

入局する医局、勤務する病院が、仕事と家庭の両立支援を意識しているかどうかは、女性医師がワークライフバランスを保って生き生きと活躍するために重要

男性医師も子育てに参画すべき・したい



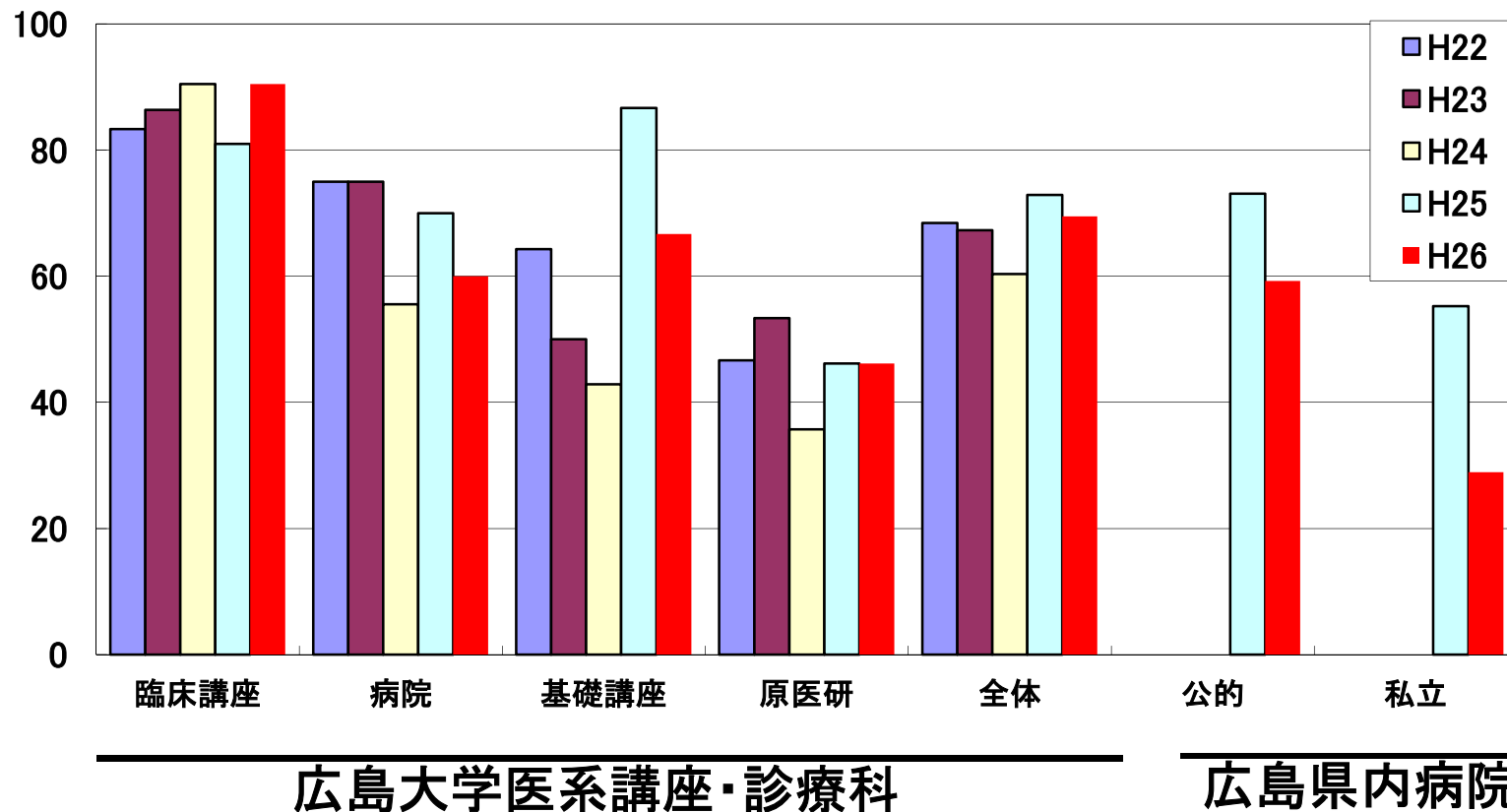
広島大学の各講座・診療科、広島県内の病院が  
どのように意識しているかアンケート調査

平成22年度から毎年行っている広島大学各講座へのアンケートに、昨年から内容を改編して県内病院にも調査を行い集計。

# 結 果

## 1、女性医師等へのフォロー体制に関する広島大学各講座・診療科 および広島県内病院へのアンケート(2014.9.)

回収率： 広島大学41/59=70%、公的病院：16/27=59%、私立病院： 11/38=29%



広島大学医系講座・診療科

広島県内病院

本年度は病院の回答率が下がりました

## 2、女性医師の会がある： 5/41講座 (12%)

産科婦人科学      脳神経内科学  
麻酔蘇生学      放射線腫瘍学  
放射線診断学

県内病院： 1/64

病院国家公務員共済組合連合会 呉共済病院

赤字： 臨床講座  
黒字： 基礎講座  
紺字： 県内病院

## 3、男女医師・研究者割合：

女性が30%以上： 16/41講座=39%

女性人数順

皮膚科学	(65%、n=26、女性教員25%)
小児科学	(52%、n=29、女性教員11%)
分子内科学	(32%、n=38、女性教員 0)
疫学・疾病制御学	(52%、n=21、女性教員50%)
眼科(視覚病態学)	(42%、n=24、女性教員25%)
自然科学研究支援開発C	(53%、n=17、女性教員25%)
麻酔蘇生学	(38%、n=24、女性教員13%)
放射線診断学	(40%、n=15、女性教員22%)
放射線ゲノム疾患	(67%、n=6、女性教員33%)
免疫学	(50%、n=8、女性教員67%)
神経生理学	(75%、n=4、女性教員0%)
心臓血管生理学	(30%、n=10、女性教員25%)
病理学	(33%、n=6、女性教員 0%)
放射線細胞応答	(50%、n=2、女性教員0%)
放射線医療開発	(50%、n=2、女性教員0%)
地域医療システム学	(33%、n=3、女性教員 33%)



## 4-1、講座構成員男女比 (うち子供あり女性医師)/37講座総計

教授:	41:1	(2%)	} 教員
准教授:	27:2	(7%) ↑	
講師:	43:7 (2)	(14%)	
助教・助手:	137:23 (8)	(14%)	
-----			
医科診療医(専任)	70:47 (10)	(40%)	
+ 社会人大学院	45:19 (4)	(30%) ↑	
大学院生(専任)	165:50 (16)	(23%) ↓	
➤ 育休取得者総計	0:21	(100%)	
➤ 講座内委員総計	100:13	(12%) ↓	

- ・ 准教授(非医師)・社会人大学院生は女性増加
- ・ 専任大学院生・講座内委員割合は減少

## 4-2、病院構成員男女比 /16公的病院・11私立病院

	公的病院	私立病院 (≥200床)
総医師数:	1644 : 444 (21%) ↑	268 : 54 (17%) ↓
当直有常勤:	769 : 152 (17%)	100 : 9 (8%)
責任職:	213 : 11 (5%) ↓	71 : 8? (10%?)
➤ 育休取得者総計	0 : 32	0 : 11
➤ 病院内委員総計	3635 : 1342 (27%) ↑	686 : 303 (31%)

- ・ 公的病院では、女性医師も男性と同等に当直を担当しているが、責任職は少ない
- ・ 男性育休取得者はやはりゼロ
- ・ 院内委員は、男性と同等に担当

## 5、出身医師(同門会)女性割合 (n > 10 割合順)、同門会女性役員

視覚病態学	56%	(n=150)	15%
麻酔蘇生学	42%	(n=48)	17%
免疫学	37%	(n=10)	
皮膚科学	37%	(n=70)	17%
疫学・疾病制御学	36%	(n=24)	
小児科学	34%	(n=119)	23%
腎臓内科	32%	(n=32)	
脳神経内科学	31%	(n=63)	6%
産科婦人科学	30%	(n=67)	3%
分子内科学	29%	(n=226)	3%
放射線診断学	28%	(n=49)	5%
放射線腫瘍学	23%	(n=41)	0%
放射線医療開発	20%	(n=12)	
精神神経医科学	19%	(n=65)	13%
分子病理学	17%	(n=23)	0%
循環器内科	12%	(n=39)	7%
耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学	11%	(n=24)	0%
腫瘍外科	7%	(n=16)	0%
整形外科	6%	(n=24)	0%

赤字：臨床講座

## 6-1、子育て支援を積極的に支援する講座・診療科

### 1) 勤務時間の軽減(時間短縮・フレックスタイムなど)

### 2) 仕事量の軽減:

■ 希望者に時に配慮

■ 希望者に常に支援

■ 積極的に支援

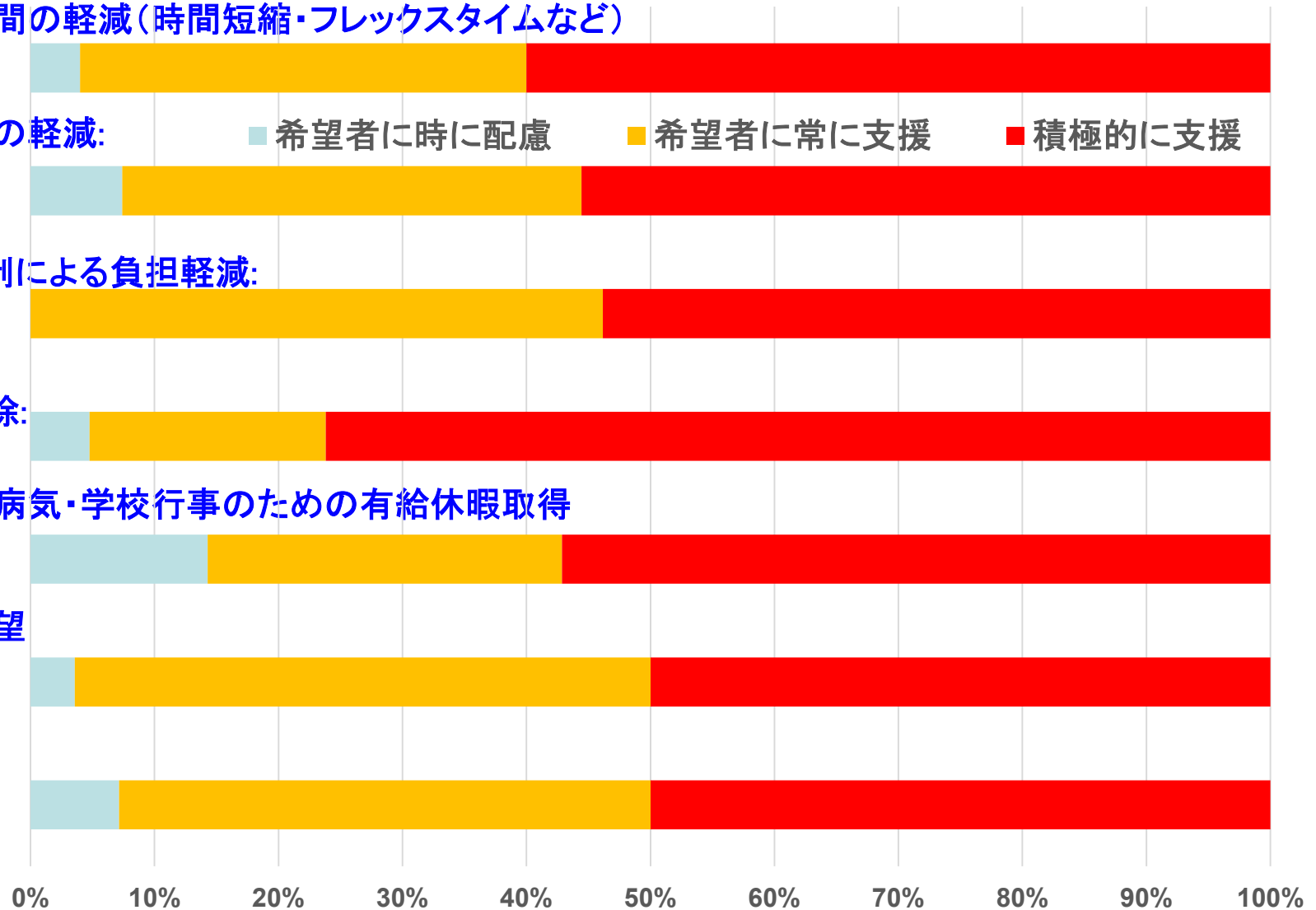
### 3) チーム制による負担軽減:

### 4) 当直免除:

### 5) 子供の病気・学校行事のための有給休暇取得

### 6) 育児希望

### 7) 育休:



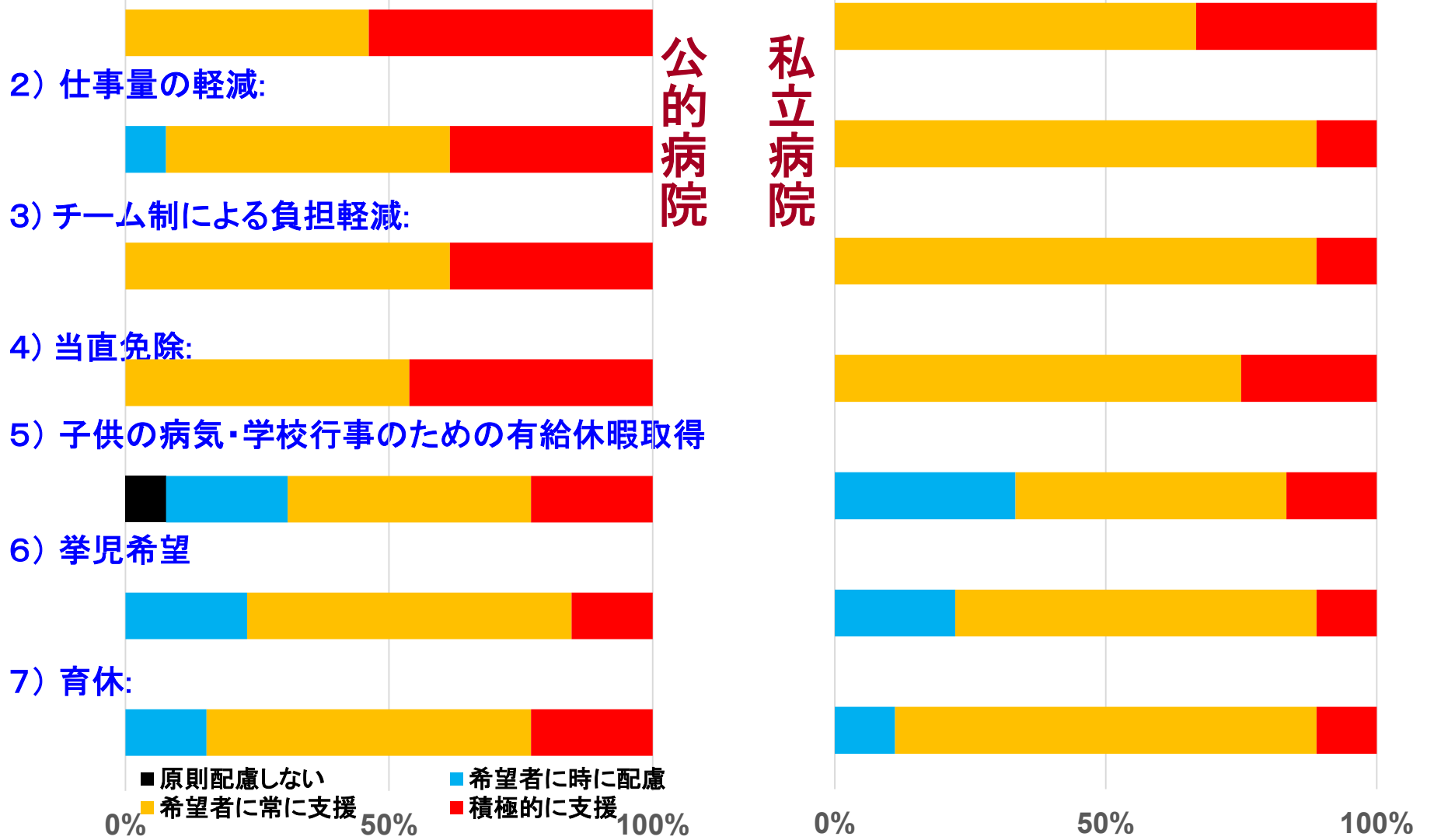
8) 男性医師が子育て支援を希望した場合、女性医師同様に配慮: 7

少し配慮: 18

配慮しない: 6

## 6-2、子育て支援を積極的に支援する広島県内の病院

### 1) 勤務時間の軽減(時間短縮・フレックスタイムなど)



### 8) 男性医師が子育て支援を希望した場合、

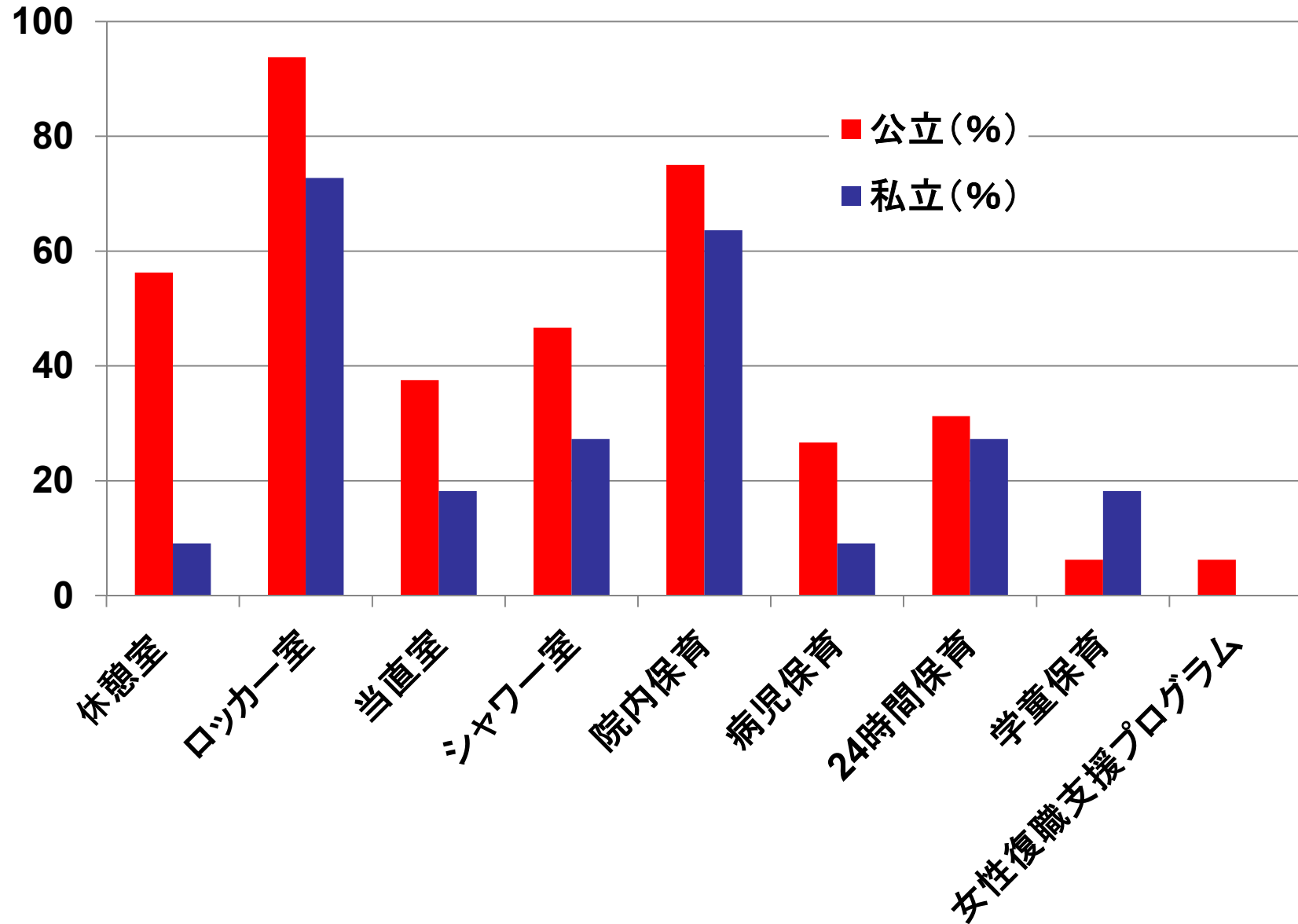
女性医師同様に配慮: 7 : 3  
 少し配慮: 5 : 6  
 配慮しない: 1 : 1

### 8) 男性医師が子育て支援を希望した場合、

女性医師同様に配慮: 7 : 3  
 少し配慮: 5 : 6  
 配慮しない: 1 : 1

(%)

## 広島県内の病院の女性医師支援環境



## 結 論

✓ 子育て・ワークライフバランス支援体制は向上しています(が、温度差も)

「育児と両立するためには本人の意識だけでなく周囲のサポートが重要です。院内の提携保育園、病児保育など課題は山積みと思われませんが、**権利を主張するには義務も生じる**という、お互いが気持ちよくサポートしあえる体制についての啓発をお願いします。」

✓ 家庭と仕事を両立するため、種々の支援体制をご利用ください:

医局、 広島大学男女共同参画推進室、  
女性医師相談窓口(広島県医師会)、  
ふるさとドクターネット広島(広島県地域保健医療推進機構)、  
女性医師バンク(日本医師会、not women only)、 etc

アンケート調査にご協力くださいました各講座・診療科・病院に深謝いたします。  
今後とも、ワークライフバランスを保って医師が生き生きと働き続けられる体制  
へのご支援をよろしくお願いいたします。

(これまでの調査集計および今回の個別結果は、広島県医師会ホームページ  
<http://www.hiroshima.med.or.jp/ishi/joseiishi/> に掲載します)

広島県医師会女性医師部会  
後援: 広島大学男女共同参画推進室

